

会 議 録

会議の名称	令和6年度第2回鴻巣市シティプロモーション推進懇話会
開催日	令和7年1月28日（火）
開催時間	午後10時00分 開会 ・ 午後11時30分 閉会
開催場所	鴻巣市役所4階401会議室
出席者（委員）氏名 （出席者数）	齊藤 哲也（アドバイザー） 長谷 英里子 澤田 稔行 久保 泰枝 伊藤 恵 亀谷 礼子 斎藤 徹 小野 賢俊 天野 雄大 池永 可成江 竹下 和男 永久 健三（12名）
欠席者（委員）氏名 （欠席者数）	堀越 延年 真鍋 透（2名）
事務局職員職氏名	市長政策室長 藤崎 秀也 総合政策課長 富田 真久 総合政策課主査 小林 裕 総合政策課主事補 吉野 紅音
傍聴者の可否(傍聴者数)	可（0名）
会 議 次 第	1 開 会 2 市長あいさつ 3 意見交換 （1）令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画について （2）シティプロモーション意見箱の設置について （3）オープミーティング「NOSU・LAB」について 4 その他 5 閉 会

会議の内容	(1) 令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画について ・SDGs ポイントは、将来的に自治会活動しながら環境美化や自治会の脱退に歯止めをかけることに期待できる。 ・シティプロモーションの担い手育成は、指定管理者として共同で取り組んでいきたい。 ・市長と語る地域懇談会は地域の声を吸い上げる手段として有用である。 (2) シティプロモーション意見箱の設置について ・小中学生を対象に取材をした経緯がある。大人と子供では見方に差があるため、大人がどう考えているか興味がある。 ・鴻巣駅への設置は可能だが、維持管理をどのようにするのが課題（盗難や破損、個人情報の取扱い、連絡体制）である。 ・アンケートを市民にどのように届けるかが課題である。例として、公民館への設置や広報誌への掲載、回覧板の活用が挙げられる。 ・鴻巣駅に横断幕を設置しての周知は効果的である。また、紙媒体だけでなく WEB も併用すべきである。 ・広報誌を鴻巣駅に設置することも効果的である。 ・広報誌の設置にあたっては「見せる工夫」も必要である。 ・「このす広場」におけるアンケート機能の活用も可能である。また、回答者へのSDGs ポイントの付与といった「インセンティブ」も必要ではないか ・職種や年代など、どういった方が回答しているか興味がある。 ・意見箱ではなく、ネーミングは検討が必要である。 ・紙媒体でフリーワードの記載を求めることはとてもハードルが高い。 (3) オープンミーティング「NOSU・LAB」について ・参加している中で、参加者の固定化や特定の意見に議論が偏りがちになることを実感しているものの、交流の場としてあると嬉しい。 ・運営を円滑に進めるため、ファシリテーターの役割が重要ではないか。 ・土曜日の午前中はイベントが多く、忙しくて参加できない。 ・活動の成果が市民に対して見せられていないことがもったいないと感じる。 ・市として主軸にしたいものを投票等で選定し、それをテーマにロゴの制作などでNOSU・LABを活用してみてはどうか。 ・子どもたちが持つ鴻巣のイメージは「花火」「生活しやすい」「安心・安全」など多岐にわたる。分散しているところが素敵なところでもある。 ・スタンプラリーで巡る食べ歩きイベントなどはどうか。NOSU・LAB認定証を作成し参加者への付加価値を創出することで参加するメリットも担保できる。 ・道の駅の整備といった、市民にあまり知られていない計画に関する情報共有の場としてNOSU・LABを活用してはどうか。
配布資料	・令和6年度第2回鴻巣市シティプロモーション推進懇話会次第 ・令和6年度鴻巣市シティプロモーション推進懇話会委員名簿 ・資料1 (1) 令和6年度事業報告について (2) 令和7年度事業計画について ・埼玉新聞紙面「鴻巣市市制施行70周年記念特集」 ・鴻巣市SDGsポイントブーケのチラシ（2種） ・このす通信（チラシ） ・観光このす2025年春・夏号（チラシ）